

日野町財政事情公告

日野町財政事情の作成及び公表に関する条例（昭和 30 年日野町条例第 31 号）第 2 条および地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、平成 31 年 3 月 31 日現在の公営企業の業務状況をここに公表する。

令和元年 6 月 1 日

日野町長 藤 澤 直 広

平成30年度下半期(10月～3月)水道事業業務状況報告書

1. 概況

(1) 受水状況

当町の水道事業は、県が運営する湖南水道用水供給事業により、水道水を賄っています。

平成30年度下半期の受水状況は右表のとおりであり、1日平均受水量は7,251.6m³で、去年同期と比べて日量153.3m³(2.2%)の増となりました。

湖南水道用水供給事業からの受水状況

	平成30年度	平成29年度	比較増減
10月	224,778	212,947	11,831
11月	218,333	205,564	12,769
12月	226,227	217,376	8,851
1月	226,203	228,593	△2,390
2月	203,519	208,494	△4,975
3月	220,732	218,914	1,818
計	1,319,792	1,291,888	27,904
日数	182	182	0
日量	7,251.6	7,098.3	153.3

(単位:m³)

(2) 有収水量

平成30年度下半期の給水状況は、給水人口20,315人(H31.3.31現在)で前年度より123人減少しました。また、1日平均有収水量は6,197.5m³で、去年同期と比べて28.3m³(0.5%)の減となりました。

(1日1人当たりの有収水量は305ℓ)

平成30年度末における使用給水栓数は、前年度から112栓増加し7,812栓となっています。

調定有収水量の比較増減

	平成30年度	平成29年度	比較増減
10月	166,973	167,106	△133
11月	213,808	212,355	1,453
12月	161,161	153,930	7,231
1月	218,831	214,198	4,633
2月	157,770	174,324	△16,554
3月	209,408	211,186	△1,778
計	1,127,951	1,133,099	△5,148
日数	182	182	0
日量	6,197.5	6,225.8	△28.3

(単位:m³)

(3) 建設改良事業の状況

平成30年度の建設改良事業は、9年計画の5年目となる主要幹線配水管の布設替工事を実施しました。また、東部配水池の災害復旧工事も実施しました。

(4) 経理の状況

ア、予算の補正の状況

補正予算計上は行っていません。

イ、予算の執行状況

平成30年度の予算執行状況は、次のとおりです。予算執行状況(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

●収益的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
水道事業収益	652,201,000	0	0	0	652,201,000	659,853,282	101.2
営業収益	576,404,000	0	0	0	576,404,000	583,730,072	101.3
営業外収益	75,797,000	0	0	0	75,797,000	76,123,210	100.4
水道事業費用	632,653,000	0	0	0	632,653,000	575,068,206	90.9
営業費用	606,961,000	0	0	0	606,961,000	554,185,455	91.3
営業外費用	24,692,000	0	0	0	24,692,000	20,882,751	84.6
予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0.0

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

●資本的収支

(単位:円)

科目	当初予算額	繰越額による財源 充当額及び繰越額	補正予算額	流用増減額	予算現額 A	執行額 B	B/A %
資本的収入	74,300,000	0	0	0	74,300,000	70,074,600	94.3
国庫補助金	44,200,000	0	0	0	44,200,000	44,256,000	100.1
出資金	9,700,000	0	0	0	9,700,000	9,700,000	100.0
工事負担金	20,400,000	0	0	0	20,400,000	16,118,600	79.0
資本的支出	346,287,000	0	0	0	346,287,000	309,018,895	89.2
建設改良費	295,536,000	0	0	△ 1,321,000	294,215,000	256,948,326	87.3
企業債償還金	50,751,000	0	0	0	50,751,000	50,750,175	100.0
国庫補助金返還金	0	0	0	1,321,000	1,321,000	1,320,394	100.0

(注)資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

※ 予算額および執行額は、消費税額を含んでいます。

ウ、決算の状況

① 損益収支

営業収益は、前年度と比較して総額で393,340円の減額となりました。これは、給水収益は増加したものの、その他営業収益である水道加入金(水道の新規加入件数)の減少によるものです。近年、節水機器の普及や節水意識の向上等によって水需要が低下傾向であり、当町の水道使用量も平成27年度までは年々減少してきたのですが、平成28年度より続いた寒波の影響により、夜間凍結防止のために水道水を使用されたこと等により、ここ3年間は増加しています。平成30年度は年間配水量で1.8%増加となりました。

営業費用は、第2次水道ビジョン策定業務等の委託料により増加しましたが、漏水修理や県水受水費等の減少により、総額で10,249,595円の減額となりました。営業外費用の増加については、定期償還に伴う支払利息が減少したことに加え、災害復旧工事の実施により国庫補助金収入が例年より増加となり、国庫補助金に対する消費税相当分を雑支出として計上したためです。

この結果、平成30年度の経常利益は71,012,840円となり、利益剰余金118,925,938円となりました。

●比較損益計算書

(単位:円)

科目	平成30年度 決算額(A)	平成29年度 決算額(B)	比較増減	
			(A) - (B)	(A)/(B)%
水道事業収益	617,327,943	618,172,890	△ 844,947	99.9
営業収益	541,009,052	541,402,392	△ 393,340	99.9
営業外収益	76,318,891	76,770,498	△ 451,607	99.4
特別利益	0	0	0	皆減
水道事業費用	546,315,103	553,966,224	△ 7,651,121	98.6
営業費用	528,054,052	538,303,647	△ 10,249,595	98.1
営業外費用	18,261,051	15,662,577	2,598,474	116.6
特別損失	0	0	0	皆減
当年度純利益	71,012,840	64,206,666	6,806,174	110.6

※損益計算書は消費税抜きの額です。

② 財務状況

平成30年度末の総資産は、前年度より154,485,126円増加し、4,270,804,459円となりました。負債についても58,847,655円増加し、2,058,686,090円に、資本も95,637,471円増加し2,212,118,369円となりました。

●比較貸借対照表

科目	資産の部			科目	負債および資本の部		
	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	比較増減		平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	比較増減
固定資産	2,945,012,942	2,876,374,696	68,638,246	固定負債	729,519,061	773,302,427	△ 43,783,366
流動資産	1,325,791,517	1,239,944,637	85,846,880	流動負債	283,702,009	152,738,986	130,963,023
				繰延収益	1,045,465,020	1,073,797,022	△ 28,332,002
				負債合計	2,058,686,090	1,999,838,435	58,847,655
				資本金	1,714,706,811	1,705,006,811	9,700,000
				剰余金	497,411,558	411,474,087	85,937,471
				資本合計	2,212,118,369	2,116,480,898	95,637,471
合計	4,270,804,459	4,116,319,333	154,485,126	負債資本合計	4,270,804,459	4,116,319,333	154,485,126

※貸借対照表は消費税抜きの額です。

③ 企業債の状況

平成31年3月31日現在の企業債の現在高は705,302,427円です。

エ、令和元年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給によって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度も、1日平均7,400m³の水道水の供給を予定しています。水道水の安定供給を図ることを目的に、住民生活に欠くことのできないライフラインの維持管理を行うとともに、引き続き健全な水道経営を目指すと共に企業努力に努めてまいります。

また、平成26年度から5年計画で実施してきた北山の主要幹線配水管の布設替について、西部配水池まで区間を延長し9年計画で耐震化工事を進めていくこととしています。

令和元年度当初予算の概要

● 収益的収入および支出 (単位:千円)

款	項	金額	備考
水道事業収益		658,062	
	営業収益	584,271	
	営業外収益	73,791	
水道事業費用		622,850	
	営業費用	598,335	
	営業外費用	23,515	
	予備費	1,000	

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。

● 資本的収入および支出 (単位:千円)

款	項	金額	備考
資本的収入		39,881	
	国庫補助金	22,390	
	出資金	11,100	
	工事負担金	6,391	
資本的支出		253,682	
	建設改良費	209,898	
	企業債償還金	43,784	

(注) 資本的支出額に対する資本的収入額の不足は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

※ 予算額は、消費税額を含んでいます。